



三条南ロータリークラブ週報

2019-2020 クラブテーマ

Sanjo Minami Rotary Club

地元を知り 地元への奉仕で ロータリー活動を示そう



2019. 7. 29 大谷光夫ガバナー公式訪問 No.2321 No. 4



会長挨拶

三条南ロータリークラブ
会長

荒澤 威彦

本日はガバナー公式訪問です。大谷光夫ガバナー、三本進一ガバナー補佐、水上喜芳地区財務委員、ようこそ三条南クラブへ。後ほどご挨拶をお願い致します。

せっかく三条に来られましたので、この地元のことを紹介いたします。金属製品・金属加工では世界の燕三条ブランドで、すでにご承知の通りですが、今回紹介するのは、三条市下田地区において地域おこしで農家の収入増につなげようとサツマイモを生産し、芋焼酎の製品化をしております。中々少量で手に入りにくいのですが、今後は少しずつ増産するそうです。

お酒を飲めない私には何を言っているのかわかりませんが、芋焼酎独特のクセを抑え、芋や米麴の味わい香りを楽しめるスッキリした飲み口が特徴で「言わば新潟県民のための芋焼酎」と言われているそうです。

名前の五輪峠は下田地域の峠道の名前で、ラベルは地元企業のパール金属の高波会長の揮毫したものです。

来年の東京 2020 オリンピックを機に、こちらの五輪も話題になればと思います。

そしてこの芋焼酎の本日 2 つ目の利用法があります。本日は大谷ガバナーの誕生日ですので、クラブからのプレゼントとしてお渡しします。おめでとうございます。

本日のあいさつを終わりにします。

- ◆本日の出席：47 名中 33 名
- ◆今年度の累計出席率：90.2% (7/26 まで)
- ◆ゲスト：R I 2560 地区ガバナー・大谷光夫様 (高田 RC)、第四分区分ガバナー補佐・三本進一様 (見附 RC)、地区財務委員・水上喜芳様 (高田 RC)
- ◆先週のメイクアップ：7/25 燕 RC へ 加藤峰孝君、船久保孝志君、阿部隆樹君、坂本洋司君、西巻克郎君

ガバナー懇談会 11:30~12:25

◆出席者＝荒澤威彦会長、長谷川直哉幹事、石山昌宏副幹事、加藤一芳君、梨木美裕樹さん、杉井旬君

◆幹事報告 長谷川 直哉 幹事

●R I 第 2560 地区事務所より

①「第 19 回ライラ研修」のご案内

日時：2019 年 10 月 18~20 日 (金~日) 2 泊 3 日

会場：舞子高原ホテル

申込期限：8 月 26 日 (月)

②「アクトの日」仮登録のご案内

日時：2019 年 9 月 8 日 (土) 9:10~13:00

会場：白根地域生活センター

「アルコール依存症」について考える交流会

申込期限：8 月 2 日 (金)

③「第 1 回ロータリー財団セミナー」のご案内

日時：2019 年 8 月 24 日 (土) 12:00~

会場：ホテルオークラ新潟

申込期限：8 月 9 日 (金)

※出席対象：財団委員長、社会奉仕委員長

㊦ニコニコボックス

7/29 20,000 円 累計 64,000 円

大谷ガバナーより、BOX にご協力いただきました。

荒澤会長「大谷ガバナー、三本ガバナー補佐、水上地区財務委員、ようこそ南クラブへ。本日は宜しくお願ひします」

長谷川幹事「大谷ガバナー、三本ガバナー補佐、水上委員のご来訪を心より歓迎します」

馬場 PG「大谷ガバナーとはかつて北欧 3ヶ国へ一緒に旅をしたことがあります。仲間がその時に出来まして、大変楽しい旅となりました」

西巻君、佐藤君、坂井君、坂本君、大溪君、野崎君、松崎君

西潟君「本日は当三条南クラブにお越しいただき、ありがとうございます。ご指導の程よろしくお願ひいたします」

銅冶君、熊倉君、石山君「BOX に協力します」

ニコニコボックス委員長・田代君

「大谷 G、三本 G 補佐、水上委員、ようこそいらっしゃいました。BOX にご協力ありがとうございました」

委員会報告

(永井篤利ロータリー財団委員長・平松修之米山記念奨学委員長)

大谷ガバナー公式訪問に際して、BOX を回しました。

※ご協力ありがとうございました



国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー (米国)

第 2560 地区ガバナー 大谷 光夫 (高田)

第 4 分区分ガバナー補佐 三本 進一 (見附)

会長

幹事

SAA

荒澤 威彦

長谷川直哉

名古屋 豊

事務局

〒955-8666 三条市旭町 2-5-10

三条信用金庫本店内

TEL0256-35-3477 FAX0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

公式訪問記念卓話

国際ロータリー第 2560 地区
2019-20 年度ガバナー

大谷光夫様(高田 RC)



最初に馬場信彦パストガバナーは地区内 28 番目の 1968 年創立三条南 RC チャーターメンバーで、51 年も在籍され、かつ 51 年連続 100%出席に心より敬意を表し、御礼を申し上げます。そして西巻克郎様の 47 年在籍と 47 年連続 100%出席、渡邊久晃様の 47 年在籍、佐藤秀夫様の 45 年在籍と 34 年連続 100%出席、野島廣一郎様と坪井正康様の 42 年在籍と 42 年連続 100%出席の偉業に敬意を表させていただきます。30 年以上在籍の 6 人の方に改めまして心よりお礼とお祝いを申し上げます。引き続き在籍年数の上乘せと、三条南 RC 発展のためご尽力賜りますようお願い申し上げます。

さて、ガバナーたる人物は大勢の人の前で堂々と話が出来る人が望ましいと聞いたような、見たような記憶がありますが、それに照らすと私は全く外れておりますし、話下手でありますことをあらかじめご了承いただきたいと思います。

RI は各地区と各ロータリークラブに変化を求めているのですが、ロータリーの基本は、創設者ポール・ハリスが「知らない人たちと交わりたい」との心情から親睦と友情を深め、安心してビジネスをしたいということで 1905 年ロータリーを創立させました。年々変化する RI の方針は方針として、例会出席なくして親睦なし、親睦なくしてビジネスも奉仕もありません。2560 地区 56RC は「月信」に出席状況をお知らせしている程、例会出席は大事であると思います。

また、私がガバナーになって改めて感じているのは、自クラブから近くの RC、分区内 RC、地区内 RC そして日本の 34RC に 44 年の間に少しずつ友人・知人が出来、自分の中では楽しいロータリーライフとなっていると感じています。

楽しくなければ退会します。その理由の多くは友人・知人が出来ないからではないでしょうか。10 年、20 年、30 年と在籍される理由は友人・知人が多く、クラブも楽しいからではないでしょうか。入会間もない方で退会しようかなと考えておられる方はいないと思いますが、もしおられたら進んで例会や委員会に出席して親睦を深め、まずクラブ内で友達を作り、次は近くのクラブや分区内のクラブにメークアップして、より大勢の友達を作ってください。

あっちこっちに友人、知人が出来ること＝ロータリーの仲間が増えることとなります。この仲間は年齢、性別は問いません。「どこへ行っても、やあ と言おうよ」の歌の通り親しみが増します。親しさ＝楽しさだと思います。「楽しいロータリーでつながって」いただければ幸いです。

陰徳良行、縁の下の力持ちから、露出するロータリーへと、公共イメージ向上は RI と地区方針です。「ロータリークラブって何？ 何をする団体？ 何か変な団体？ ロータリークラブなんて知らないな」は、一般の方のロータリーの見方です。「世界で良いことをしよう」は、まずロータリアン同士で親睦を深め、その力の結集で、世界でも日本でも、この三条地域でもよいことをしよう、の意味であります。良いことを大いに露出させ、公共イメージを向上させると一般の方からロータリークラブを認知いただくようになります。結果、地域で評判の良い人の増強にも結び付くのではないのでしょうか。

三条南ロータリークラブの今後のご活躍に期待しておりますとともに荒澤会長他会員各位のご健勝を祈念いたしまして卓話とさせていただきます。

クラブ協議会

13:50~14:30 進行：長谷川幹事



◆クラブ事業計画発表 (各委員長)

- ①会長主要目標・荒澤威彦▶②会場監督・名古屋豊▶③クラブ奉仕・銅冶康之▶④職業分類・熊倉高志▶⑤会員増強・池田亜津子(副)▶⑥会員選考・ロータリー情報・野崎正明▶⑦出席・松崎孝史▶⑧親睦・プログラム・木村譲▶⑨ニコニコボックス・田代徳太郎▶⑩クラブ会報・桑原朋子▶⑪奉仕プロジェクト及び公共イメージ・星野健司▶⑫職業奉仕・渡辺和宏▶⑬社会奉仕・吉沢栄一▶⑭青少年奉仕・木村譲▶⑮国際奉仕・青少年交換・佐々木常行▶⑯ロータリー財団・永井篤利▶⑰米山奨学・平松修之

◆講評

第四分区ガバナー補佐 三本進一様(見附 RC)



●発表を聞き、さすが 50 年の歴史ある三条南 RC は、中身もきちんと組まれていて、ロータリークラブとしてしっかりとした計画を立てていただいていると確認した。また皆様方の積極的な活動を期待申し上げます。

●今後の問題として「ガバナー輪番制」がある。今第七分区を皮切りに次には第一分区の佐藤エレクト(村上岩船 RC)が決定した。おそらく今年 10 月の地区大会でその次の第二分区からノミニーが報告され、当第四分区は再来年の地区大会あたりにはノミニーを報告することになる。現在、第七分区は全クラブから地区委員を出し、総力を挙げてガバナーを支えるという体勢になっている。小さなクラブからでもガバナーが輩出でき、次の第一分区でも踏襲することを示している。ひとつのベースになる体制だと思っている。

●会員増強は大きな課題である。新しいメンバーを呼び込むのも大事だが、やはり退会防止が重要。やめていったメンバーが外に向かって発信することがロータリーにとって決して良い話ではなかったり、マイナスにもなりかねない。具体的に、退会防止についてどんなお考えかお聞きしたい。(荒澤会長回答)「今年度は、第一例会では卓話もなくし、ゆっくりと時間を過ごす、メンバー同士が沢山話をして、親睦を深める時間を作る。昼食に出掛ける例会もやる。ロータリーを楽しむということが退会防止に繋がると考える」

●青少年奉仕について。RI が推奨しており、大谷ガバナーもその御経歴から重点としている。単なる青少年奉仕というだけの切り口ではなくて将来的なロータリアンの育成に繋がるような形にしたい、将来に向けての投資、という考え方。重要行事には提唱未提唱に関わらず、全クラブ出席という方針であるため、ご理解御協力いただきたい。